

一般質問

6月17日



自由民主クラブ

さ さ き だい すけ
佐々木 大介

Q 花川中学校通学へのバス運行は

A 既存の路線バス事業者と協議中

台数の確保が課題となっており、便数の確保等について路線バス事業者と協議を始め

問 花川東と緑苑台地区から花川中学校へ通う生徒が冬期間の朝に利用していた宅地開発事業者による貸切バスが終了してしまいましたが、今後のバスの運行や利用者の負担について市はどのような対応を考えているのか伺います。
答 現在、同地区を運行する既存の路線バスでは生徒の乗車人数に対応できないため通学に必要な

とところで。また、保護者負担の軽減については市が肩代わりする理由や他事例との公平性など整理すべき課題もありますが、打開策を見出すことができるよう十分検討していきたいと思えます。(生涯学習部)

Q エネルギー戦略について

A 中長期的観点で構想策定

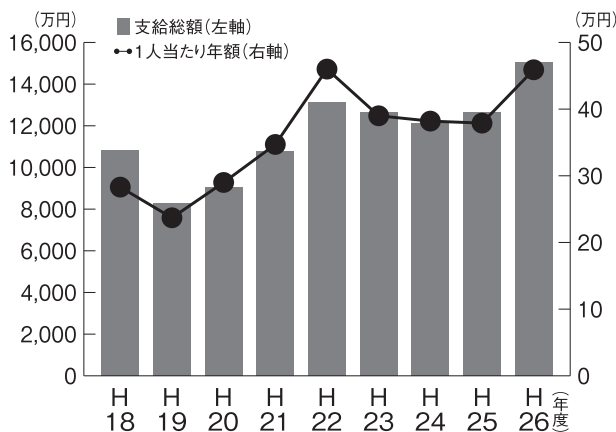
問 3月に開催の第1回定例会で水素戦略推進事業の予算が可決され、現在プロポーザル式による委託事業者の選定が行われているところだと聞いていますが、石狩湾新港地域で水素社会の実現に向けた検討を行うことについて目的を伺います。
答 未来のエネルギーとして期待される水素の市場規模

は2050年には約8兆円になると想定され、さらに日系の関連企業が多数の特許を持つことから、市では長期的な水素関連産業の集積を一つの目標として照準を合わせるため、この取り組みの指針となる構想を策定するものです。(企画経済部)

Q 市行政改革大綱について

A 今年度中に見直しを予定

問 ①市職員の市外居住について今年度の状況を伺います ②年間の時間外勤務が最も多い職員の総時間数を示してください ③時間外勤務の縮減は給与の適正化や人件費の抑制を目的としています。縮減が進んでおらず、それどころか職員数の減少とともにも一人当たりの時間外勤務は増えている傾向にあります。このような現状においてこれまでどのような取り組みを行い、目標と実績との乖離についてどう評価しているのか伺います ④今後、新たな行政改革大綱を作成すると思いますが、こうした現状を踏まえ、時間外勤務の縮減についてはどのように進めていくのか考えを伺います。
答 ①職員の市内居住率は本年4月1日時点で51.2%となっています ②時間外勤務の年間最多職員の時間数は27年度1184時間となっています ③市はアウトソーシングの推進などさまざまな手段を講じていますが、大綱に定めた目標には至っておらず行革懇話会からも厳しい指摘を受けており、種々検証していかねばならないと認識しています ④本市の職員数は全国や道内の類似団体との比



▲市職員の時間外勤務手当の推移

較分析を行った一定の合理性を持つて設定してきたところですが、市としては今年度中に行政改革大綱と定員適正化計画の見直しを予定しており、ご指摘の点を含め総合的に対応していきたいと思えます。(総務部)

その他の質問

- 今後の財政の見通しについて
- 石狩市公民館について
- 市内小学校の朝の開門について